

ひとつでも多くの知識を。
あなたやあなたの大切な人を守るために。

「不検出」のはなし。



これは「不検出」



これも「不検出」

「不検出」とは「0」のことではありません。
「測定下限値」より低い数値！とゆうことなのです。
「測定下限値」とは、測定する人が機械に「ここまで測ってくださ〜い」って設定する値。
機械はそれに合わせて「はい。では今回は...20Bq /kg
以上あったらお知らせしますね〜」とゆう具合に測定してくれます。
...なのでたとえば上のように20Bq /kg と設定したら、
それ以下はND(不検出)となってしまうのです。
そしてまるで0Bq /kg かのようスーパーに並んでしまうのです。

これは放射能のほんの1部のおはなし。(お父さん1、お父さん2、お母さん1、お母さん2、子ども1、子ども2)バージョンがあります。それぞれ内容が違いますのでぜひ読んでみてくださいね。

低線量被ばくのはなし。

私たちの住む春日部市は福島第一原発からやく200キロも離れています。
チェルノブイリ原発事故でさいたま市と同程度汚染された都市ウクライナの首都キエフ。

キエフ(当時)約690ベクレル/kg
さいたま市(西区)600ベクレル/kg
(土壌セシウム134、137)

そんなキエフでは今こんなことが起きています。

**奇形児の増加 死産 悪性腫瘍 二分脊
椎症 脳水腫 頭蓋骨腫瘍 甲状腺異常
乳癌 白血病 など**

福島と比べたら...ずっと低い線量かもしれませんが。低い空気を吸って、低い線量の食べ物を食べて...でもその低い線量は決して安全と言えるものではないとゆうことを忘れないでください。
そして少しでも多くの知識を身に付けて、大切な人を守ってください。

見てほしいサイト・ホームページ

チェルノブイリへのかけはし

<http://www.kakehashi.or.jp/>

内部被ばくを考える市民研究会

<http://www.radiationexposuresociety.com/>

子どもを守ろうSAVECHILD

<http://savechild.net/>

参考になるサイト・ホームページ

OKFOOD/ <http://okfood.blog.fc2.com>

Food Business Safety Network

(飲食セーフティネットワーク)

<http://fbsnetwork.com/index.html>

健康野菜館くまもと

http://kenko-yasaikan.jp/user_data/shop1.php

お母さん、 あなたの大切な人はだれですか？

～この国がきめた安全と
あなたが望む安全は同じですか？～



放射能から子どもを守る会 春日部

<http://blog.goo.ne.jp/kodomo2011>

あなたが探して見つけたものが 本当の答えなのかもしれません。

新聞やTVで報じている放射能のはなし。

福島第一原発事故からちょうど2年、今年の3月11日。
アメリカNCRPに提出した報告書には、福島県での健康調査の結果38000人のうち10人が小児甲状腺がんと発表。
これがどうゆうことかというところ…

通常の**130倍以上**。

本来小児甲状腺がんの発症は10万人に0.2人なんです。
知っていましたか？

しかし先日の朝日新聞の一面にはこう書かれていました。
「チェルノブイリの30分の1」…。

日本国民の甲状腺総被ばく量はチェルノブイリの約30分の1、全身は約10分の1と推計し、健康被害は「チェルノブイリとは異なる」「がんの発生は少なく、見つけるのは難しいレベル」。

また、チェルノブイリと比べて放射性物質の放出量が少なかった上、日本では住民の避難や食品規制などの対策が比較的迅速だったと。これでは過小評価すぎないでしょうか？

では…そこにもう一言添えてほしい。「事故2年後の小児甲状腺がんの発生はチェルノブイリの2倍以上」と。

「完璧な対策をしています」のはなし。

左のページでもお話しした、この国の迅速かつ完璧？な基準値。
チェルノブイリ原発事故後のウクライナの基準と比較してみましょう。

たとえば日本人の主食、お米は……100Bq/kg まで
ウクライナでは主食のパンは……20Bq /kg まで

毎日食べるお野菜(日本)……100Bq /kg まで
(ウクライナ)……40Bq /kg まで

*ちなみにBq (ベクレル)のおはなしはお父さん1バージョン
に書いてありますのでそちらも読んでみてくださいね！

避難基準の比較については、こころしてお読みください。

日本の強制避難対象基準は……20ミリシーベルト/年
(これは3.8マイクロシーベルト/時ということ)

ウクライナでは強制避難……5ミリシーベルト/年
(これは0.61マイクロシーベルト/時ということ)

*ウクライナでは外部被ばく6割、内部被ばく4割と考えて計算されています。

ウクライナには移住権利対象基準もあって……これは1ミリシーベルト/年と、さいたまと同程度の0.118マイクロシーベルト/時なのです。

それでも今日も私たちはここにおいて、息をし、ご飯をたべています。そしてこれがこの国が出した「安全」という基準なのです。

これは放射能のほんの1部のおはなし。(お父さん1、お父さん2、お母さん1、お母さん2、子ども1、子ども2)バージョンがあります。それぞれ内容が違いますのでぜひ読んでみてくださいね。

見てほしいサイト・ホームページ

チェルノブイリへのかけはし

<http://www.kakehashi.or.jp/>

内部被ばくを考える市民研究会

<http://www.radiationexposuresociety.com/>

子どもを守ろうSAVECHILD

<http://savechild.net/>

参考になるサイト・ホームページ

OKFOOD/ <http://okfood.blog.fc2.com>

Food Business Safety Network

(飲食セーフティネットワーク)

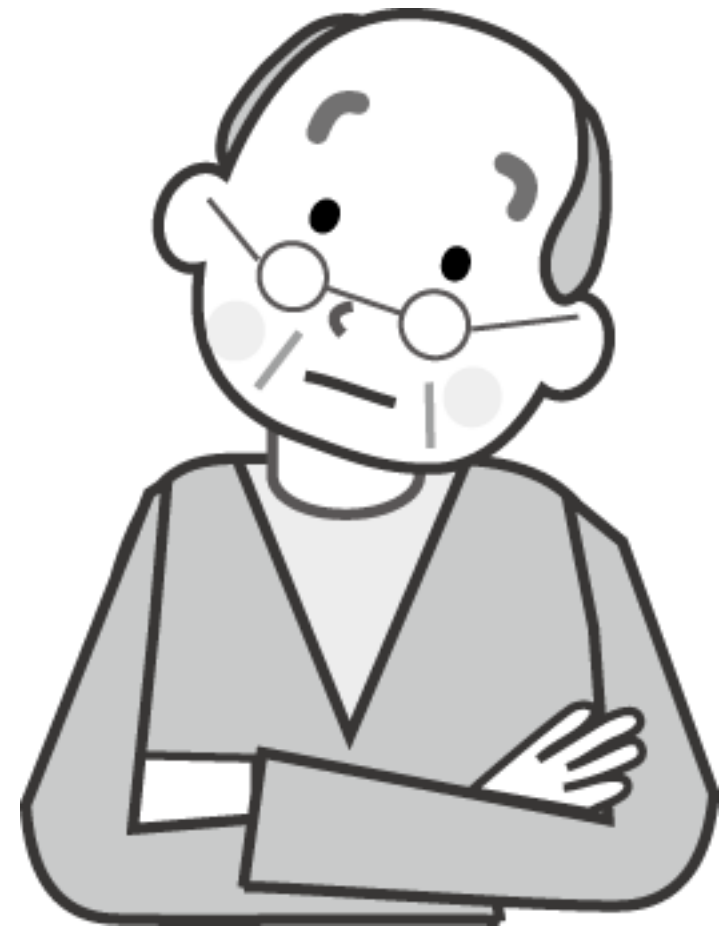
<http://fbsnetwork.com/index.html>

健康野菜館くまもと

http://kenko-yasaikan.jp/user_data/shop1.php

お父さん、 あなたの大切な人はだれですか？

～この国がきめた安全と
あなたが望む安全は同じですか？～



放射能から子どもを守る会 春日部

<http://blog.goo.ne.jp/kodomo2011>